

第31回 岐阜大学 サマースクール（受入）－2018年度－ The 31st Gifu University Summer School Program (2018)

本プログラムは1988年度に開始され、31年間で495人が学びました。



2018年度サマースクール参加学生 郡上プログラム

2018年度サマースクール概要（2018 Summer School Outline）

期間（Period） 2018年6月27日～7月25日（27 June - 25 July, 2018）

参加学生人数（Number of Participants）

13名：ノーザンケンタッキー大学4名、木浦大学3名、カセサート大学2名、
広西大学1名、電子科技大学1名、マレーシア国民大学2名

(13 students : 4 from Northern Kentucky University (USA), 3 from Mokpo National University (Korea), 2 from Kasetsart University (Thailand), 1 from Guangxi University (China), 1 from University of Electronic Science and Technology of China, 2 from The National University of Malaysia)

プログラム内容（Program Contents）

日本語授業（Japanese Language Classes）：月曜～水曜午前
(Monday to Wednesday, AM)

日本文化体験（Japanese Culture Experiences）：

エクスカージョン（土岐・関）、能楽（能・狂言）ワークショップ、相撲観戦等
(Excursions (Toki・Seki), Nohgaku (Noh & Kyogen) Workshop, Sumo etc.)

2018年度サマースクール レポート

2018 Summer School Report

27. Jun. サマースクール開講式・ガイダンス・歓迎茶話会

Wed. 2018 Summer School Opening Ceremony, Guidance and Welcome Tea Party

岐阜大学サマースクールが始まりました。今年度はアメリカのノーザンケンタッキー大学から4名、韓国の木浦大学から3名、タイのカセサート大学から2名、中国の広西大学および電子科技大学から各1名、そしてマレーシアのマレーシア国民大学から2名、合計13名の学生が参加しました。参加学生らは午後から始まるガイダンスやキャンパスツアーに参加しました。夕方には開講式と歓迎茶話会が開かれ、本学学生チューターや、本学に在学中の交換留学生らも参加し、親睦を深めました。



28. Jun. 土岐エクスカーション

Thu. 2018 Excursion to Toki City (Pottery)

Schedule
14:15~16:45 ロクロ・絵付け体験

午前中にプレシメントテストを実施し、日本語レベルの判定を行いました。午後からは、土岐市国際交流協会のご協力のもと、土岐市のどんぶり会館にてロクロや絵付けなど、陶芸を体験しました。



02. Jul. 日本語授業開始

Mon. 2018 Japanese Language Classes

7月2日から7月24日まで日本語授業を受けました。日本語授業以外に、作文クラス、グループ発表の時間もあり、サマースクール最終日の7月25日にはその成果を発揮すべく発表会や作文の時間が設けられました。

06. Jul. 関エクスカーション

Fri. 2018 Excursion to Seki City (Edged Tool Workshop)

Schedule
13:00~15:00 ミニはさみ組立・鍛冶打ち体験
・刀の説明・着物体験

関市の関刃物ミュージアム(刃物屋三秀)で刀鍛冶の様子を見学し、ミニはさみ組立体験や着物体験を行いました。



11. Jul. 能楽(能・狂言)ワークショップ

Wed. 2018 Nohgaku (Noh & Kyogen) Workshop

能と狂言のワークショップが開催されました。能は観世流シテ方味方園先生・田茂井廣道先生、狂言は大蔵流狂言方山口耕道先生・茂山忠三郎先生による講義と実演があり、参加者にとって「見て、聞いて、体験する」充実したものでなりました。



13-16. Jul. 郡上プログラム

Fri.-Mon. 2018 Gujo Program

郡上八幡国際友好協会と郡上市役所のご協力のもと、郡上での文化交流、そしてホームステイを体験しました。

Schedule

7月13日(金)	7月14日(土)	7月15日(日)	7月16日(月)
10:30 郡上到着	9:15~10:45 書道講座	9:15~10:45 ゆかた着付けおよび郡上踊り体験	12:00~13:00 昼食
10:30~10:40 オリエンテーション	11:00~12:00 各自ホストファミリー宅へ	13:15 郡上高校剣道部と交流	7月16日(月) 7月16日(月)
10:40~11:45 茶道講座	12:00~13:00 各自ホストファミリー宅へ	16:45~17:45 郡上八幡スポーツセンター(自由時間)	9:30~10:30 まとめの会・記念写真撮影
13:15~14:30 八幡小学校訪問・交流	13:15 各自ホストファミリー宅へ	19:00~20:30 ホストファミリー対面式・歓迎交流会	
15:00~16:30 剣道体験 郡上高校剣道部と交流		20:30 各自ホストファミリー宅へ	
16:45~17:45 郡上八幡スポーツセンター(自由時間)			
19:00~20:30 ホストファミリー対面式・歓迎交流会			
20:30 各自ホストファミリー宅へ			

7月13日(金)

茶道講座



郡上高校剣道部と交流



ホストファミリー対面式・交流会



7月14日(土)

書道講座



ゆかた着付け教室



ホストファミリーの皆様の感想文

Messages from Gujo Host Families

ホームステイも気がつけば今年で五回目です。時期が来ると家族で「今年はどんな学生さんとお話できるかなあ」と自然に楽しみにしている感じです。いつも我が家に新しい風を吹き込んでくれます。

今回も韓国より気さくな学生さんが来てくれました。お互いの国について沢山お話することができました。郡上踊り発祥祭には義母が浴衣を着て、義父と「孫娘とそっくりや」と楽しそうに話していました。家族みんなが楽しく過ごせました。今年も貴重な機会をいただきました。本当にありがとうございました。(K.H.様)

岐阜大学サマースクールin郡上八幡ホストファミリーに、今年度で2回目の参加をさせていただきました。今年の子は、どんな子だろう?どんな事をしてあげようか?などを考えて、対面式ではドキドキ・ワクワクでした。

今回は、アメリカの男の子が、我が家へ来てくれました。体格がすごく大きくて食べる量も多いならなあ、何をどのくらいの量を食べさせてよいのか悩みましたが、体格の割には、全然、私たちと変わらない量だったので驚きました。

言葉の方は、自分からアメリカの授業で覚えた日本語で、住んでいる町や、なぜ日本に留学をしたかったのかを冗談を交えながら楽しく話してくれました。私達からも、冗談を交えて話すと、冗談で返して話してくれるので一緒に会話をしていると時間が経つのが非常に早かったです。私達の使う普段の日本語は、彼にとって難しく理解ができないことがかなりありました。私達も英語だと思ったことが意外にも、和製英語だったりして、勉強にもなりました。

3泊4日間、あっという間に過ぎ去りましたが、異国文化の違いを感じられ良い経験になりました。ありがとうございました。(A.F.様)

今年もホームステイの受け入れを楽しみにしていました。初日はとても緊張しているようでしたが、一生懸命話をしてくれたりお手伝いをしてくれました。

日本語で何て言うの?といろいろと質問してくれて、日本語を頑張って勉強している姿に息子も刺激され、これは英語で何て言うの?と質問していました。本場の英語に触れることができ、息子にとっては、ますます自信と意欲がわいてきたようです。

一緒に料理をしたり、バーベキューや手巻き寿司などを一緒に食べてとても楽しい時間がもてました。高山へ出かけた時はとても気に入ってくれて、特に高山陣屋は興味深いと熱心に見学していました。

短い時間でしたが、日本に興味を持ってくださる方を家族の一員に迎えられて一緒に過ごすことができて嬉しかったです。また会える日を楽しみにしています。(S.M.様)

我が家に来てくださった学生さんは、物静かな真面目な青年。孫より二歳上に妹さんがいるからか、一緒に遊んだり、質問ごっこをしたりしてくれました。朝起きると、気がつかないうちに布団をきっちりと畳んでくれていたり、とても礼儀正しい青年でした。ご飯もしっかりと食べてくれて嬉しかったです。初来日でお着も初体験なのに、とても上手でカツカレーも箸で食べていました。好きなミュージシャンが世代を超えて同じだった、彼のルーツであるドイツの話で盛り上がり、娘とも運くまで色んな話をしていたようです。

郡上プログラムは、とても短い時間なのでいろんな体験をさせたくて、ついつい張り切り切ってあちこち引きずりまわしてしまいます。今回は焼肉屋さんでしごこちを待たされ、高速出口で大渋滞に巻き込まれ、結果プールで遊ぶ時間が短くなり残念な結果に。ひたすら待つ時間を体験させてしまいました。申し訳ない気持ちでいっぱいです。

日本一暑い日もある郡上八幡で大変だったと思います。短い時間でしたが、かけがえのない体験でした。(T.Y.様、M.S.様)



19. Jul. 相撲観戦

Thu. 2018

Sumo Watching

大相撲名古屋場所を観戦しました。



25. Jul. まとめの会・修了式・歓送会

Wed. 2018

Meeting, Closing Ceremony, Farewell Party

サマースクールプログラム最終日、学生らはグループ発表を行い、「サマースクールで印象的だったこと」についてプレゼンテーションを行いました。修了式では80%以上の出席を満したサマースクール参加学生に修了証書が授与されました。修了式開催後には、郡上でお世話になった方々、学長をはじめとする岐阜大学の先生方、宿舎チューター等も交えた歓送会が開かれ、各校の代表者に日本語でサマースクールの感想を発表してもらいました。

グループ発表の様子@まとめの会



修了式



歓送会



2018 サマースクールチューター 2018 Summer School Tutors

サマースクールチューター内訳

①性別

男性	5名
女性	6名

②課程別

学士	8名
修士	3名

③学部別

学部	学生数
教育学部	3名
地域科学部	3名
医学部看護科	1名
工学部	1名
応用生物科学部	1名
自然科学技術研究科	2名

(チューター11名中10名回答)

サマースクールチューターに参加してよかったか

非常に良かった: 9名
良かった: 1名

※「非常に良かったー良かったー可もなく不可もなくー良くなかったーもう二度とやりたくない」の5段階から選択



自分自身にとってのサマースクールでの経験について(よかった点、反省点等)

当初は、何か学生のうちにしかできないことをやろうと考えて宿舎チューターを志願しましたが、今まで宿舎チューターをやらなかったことが勿体ないと後悔するほど楽しく、私自身の成長につながった経験だったと感じました。学会の準備等で普段の生活が忙しく、留学生らとのイベントにもあまり顔を出すことはできませんでしたが、一緒に夕食を作ったり、夜遅くまで雑談をしているうちに、普段会話する日本人との友情だとか恋とは違う、仲間という存在ができたような気がしました。何より、私の学会が終わる翌日に留学生らが帰国すると聞き、学会が開かれた北海道からスーツ姿のまま直接学外研まで向かった自分自身の行動に驚きました。飛行機や移動の疲れもありましたが、とにかく皆に会いに行かないと絶対に一生後悔するという何か強迫観念めいたものを初めて感じ、そんな自分はきっと成長したのだらうと思えました。それだけ今回の経験が貴重で、自分に必要なものだったのだらうと、自身を見つめなおす良い機会でした。

外国の人が日本に来た時にどういったことに喜んで、どういふところを不便と感じるのかを知ることができて良かったです。また、今までアジア圏の人とはあまり関わったことがなかったので、アジアの国について、その国の文化や習慣などを知ることができて良かったです。

サマースクール生と関わることがとても刺激になりました。同じ年の子が日本に留学して、将来のことを考え取り組んでいること。その将来についても、とても具体的にしっかりしているなと思いました。それに比べて僕はあまり将来についてがはっきりしていないので、しっかり考えないといけないなと思いました。まとめるとすごく実りのある一か月間になりました！

サマースクールチューターをできて本当に良かったです。今回の体験の中で特によかった点、心に残っている点は主に二つあります。一つ目は、一緒に日本料理を作り、食べたことです。私はただふるまうだけでなく、みんなで作る工程も楽しめたかったので、稲荷寿司づくりやお好み焼きづくりを企画しました。とても盛り上がりました。食べられなくても作るだけでも参加したいと言ってくれる子もいて、日本の料理に興味をもってくれて本当に嬉しかったです。

二つ目は、たくさんの会話を通して私自身も様々な異文化を知れたし、みんなも日本の文化を知ってくれたことです。学校、勉強方法、文化、食事、スラング、歌、アニメや漫画などたくさんの観点から交流しあえました。ここには書ききれませんが、本当にいい経験になりました。



アンケート結果

Result of Questionnaire



【実施状況】

アンケート実施人数: 13名 (全員提出) / 実施時期: 7月25日とりまとめの会内で回答

男性	5名
女性	8名
平均年齢	21歳

日本語・日本文化	6名
コンピューターサイエンス・情報系	6名
心理学	1名



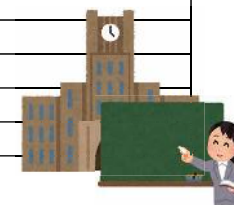
【サマースクールプログラムの満足度について】

全体的な評価

5段階評価: **4.92** (とてもよかった)

日本語の授業について

Q1. 授業のレベル	少し簡単だった	
Q2. 授業時間数	ちょうどよかった	
Q3. 教え方	4.5	よかった
Q4. 教材	4.2	よかった
Q5. 作文のクラス	あったほうがいい	
Q6. グループ発表	4.2	よかった
Q7. 「読む」「書く」「話す」「聞く」の上達順	読む	4 番目
	書く	3 番目
	話す	1 番目
	聞く	2 番目



日本文化体験・ワークショップについて

Q1. 日本文化体験・ワークショップ		
日本の刃物産業についての授業 6/27	4.46	よかった
土岐 (陶芸体験) 6/28	4.85	とてもよかった
関 (日本刀鍛錬見学) 7/6	4.77	とてもよかった
能楽ワークショップ 7/11	4.38	よかった
相撲観戦 7/19	4.08	よかった
Q2. 日本文化体験等によって 日本文化の知識が深まったか。	YES	13名
	NO	0名

郡上プログラムについて

Q1. 文化体験プログラムについて		
茶道	4.85	とてもよかった
小学校訪問	4.38	よかった
剣道	4.46	よかった
書道	4.23	よかった
浴衣着付け+郡上踊り	4.85	とてもよかった
Q2. ホームステイはどうか	4.46	よかった

サマースクール参加学生の感想文 ～日本語で書きました～

Messages from Summer School Students

サマースクールに来る前は、ちょっと緊張して心配なこともいっぱいありました。日本語が上手ではないことや、クラスメートと仲良くすごせるかどうかなどです。

最初、クラスメートとは親しくなかったけど、一緒に授業を受けたりばんごはんを作ったり、みんなで力を合わせていろいろなことができました。

その過程の中で、日本語で話す能力も上がったし、友達も作ったし、楽しくて、切ない思い出がたくさんできました。一生に二度ない経験なので、来年参加の皆さんはぜひ一生懸命に楽しんでください。

日本の一ヶ月は本当におもしろかったです。いろいろな国の友達と初めて会って、その国の文化をおしえてくれることはたのしかったです。一緒にどこかに行ったり、ごはんを作ったりしたことはずっと思い出されそうです。

ホームステイで郡上踊りとか白川郷に行ったこともおもしろかったです。先生たちは私たちがわからなかった時にもゆっくり説明してくださってありがたかったです。特別な夏休みだったと思います。

このプログラムは凄く楽しかったです。沢山の人が岐阜に来ました。皆さんは面白くて、優しくて、楽しかったです。毎日違うチューターが寮に来ました。全てのチューターは優しくて、楽しかったです。毎晩私たちとチューターは晩ご飯を作りました。この晩ご飯は美味しかったです。一番好きな食べ物カレーです。週に四回ぐらい日本語の授業がありました。沢山の先生がいました。全ての先生は楽しくて、面白くて、優しいです。日本語の授業は面白かったです。一番好きなエクスカッションは郡上のホームステイです。全部楽しかったです。私のホームステイファミリーはすごく良かったです。

岐阜大学のサマースクールはすごく楽しかったと思います。ありがとうございました。

チューターさんたちは私と年齢が近いので、みんなとたくさん話せて、遊べて、相談できて、仲良くなりました。いつも、私たちの事を心配してくれて、嬉しいです。日本人のチューターさんたちと友だちになれたのは私にとって夢みたいです。色々な事を私たちに教えてくれたチューターさんたちはとてもすてきな人たちです。(中略)

一ヶ月間は最初長いと思いましたが、今では短すぎと思っています。国へ帰っても、チューターさんたちとまた会ったり、遊んだり、話したりできるといいと思います。きかいがあったら、また会いましょう。

来年のサマースクールの学生はがんばって!サマースクールの初めはみんな知らない人ですが、しばらくして友達になります。もし問題があっても、チューターはどんなときも手伝ってくれます。7月は夏ですの水をいっぱい飲んでください。どうしてかわからないですが、毎晩寮はむしがたくさん出るので気をつけてください。岐阜にはやすい100円の店があります。日本の果物は高いですが、とても安いのはバナナです。私はサマースクールに参加してうれしかったです。あなたも同じ経験ができることを願っています。

このサマースクールに参加させていただき、ありがとうございました。ここで、茶道と剣道を体験できて、中国でテレビやインターネットを通して学んだことより、もっと深く知ることができました。また、相撲の観戦を通して、力士の方々が多くの努力をしているのだと実感しました。それと同時に、力士の方々に対する尊敬のきもちが湧きました。

ホームステイでは、郡上でみんなと一緒に盆踊りをしたり、ホストファミリーと生活したり、ごはんを作ったり、話したりしました。親切的なホストマザーが私たちのために、おみやげを準備してくれていて、ほんとうにうれしかったです。

そして、アメリカ、タイ、韓国、マレーシアからの学生と一緒に勉強して、パーティに参加して、いい思い出がたくさんできました。短い一ヶ月でしたが、仲の良い友達になりました。忘れがたい記憶になりました。一期一会と言いますが、みんなと再会できると信じます。サマースクールのクラスメートたち、ぜひ中国へ来てください。また会うことができるように。これは私の祈りです。

2019のがくせいへ:

2018からこんにちは。私は2018年のサマースクールのがくせいですが、もうすぐクラスはおわりです。みんな、日本は素晴らしいですよ。このプログラムはたくさんたのしいけいけんがあります。

はじめて日本にきた時、みんなはたぶんふあんです。私もふあんでした。でもだいじょうぶ。日本のせんせいとチューターたちは素晴らしい人です。みんな、たくさん人とはなしてください!チューター、せんせい、日本人、ほかのりゅうがくせいとはなして!このサマースクールはたぶんながそうですが、じかんははやいでしょう!しゃんと、おみやげはいいけど、いい思い出と友だちのほうがいいと思います。

このプログラムは本当にたのしいです。私はかえりたくない。さようならは本当になんないです。その前に、たくさんたのしんでください。



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

2018年11月発行